

進路指導部通信

県立高等特別支援学校

進路指導部

2019. 3. 21 NO. 11



新年度に向けて自分の課題を振り返っておこう

1年生、2年生の皆さんは、本日修了式を迎えました。この1年でどんなことを身につけましたか。「自立」や「就職」することを目標に本校に入学してきてくれた皆さん、この1年間は充実したものであったでしょうか。本校はたくさんの行事があり大変忙しいですが、その中で進路活動も同時に進んでいきます。毎日の学習以外に、校内実習や現場実習の体験を通して、働くことを以前よりも身近に、そして真剣に考えることができているでしょうか。新年度までの春季休暇を利用して、自分の課題は何であるか、克服のために新しい学年ではどんなことを頑張るのか、しっかり考え新年度に備える機会にしてください。

就職活動の動向について

最近の傾向で、2年生の秋ごろから、雇用の可能性のある企業から体験実習のお話をいただくことが珍しいことではなくなってきました。あくまでも体験実習ではありますが、雇用につながるかもしれないチャンスをいただけることは、本校生にとって大変ありがたいことだと嬉しく感じています。一方で、2年生の時期にお話をいただくと、まだまだ生徒と保護者が決断する時期としては早過ぎるのかなといった印象も受けています。3年生の秋の時点で雇用の可能性があるお話をいただいて断る生徒はまずいません。迷うことなくチャレンジする意欲や覚悟といったものが生徒にも保護者の中にもしっかり育っているように思います。まだ卒業まで時間のある2年生の秋の段階では、お話をいただいた喜びよりも、ここで決めてしまっているのだろうかという不安や戸惑いの方が大きいのかもかもしれません。人

生の大切な節目で、迷われることは当然のことと思います。しかしながら、企業にも企業の事情があり、早い時期に決断を迫られることもあるということを知っておいていただきたいと思います。

また、本人にその仕事が本当に合っているかどうか、合っていたとしても企業が採用して下さる基準に本人の力が達しているかどうかは、実際に実習に行ってみないと分からないことです。そのため、本校では実習を重要視しています。体験実習がうまくいき、次のステップに進むことになった場合は、さらに結合実習を複数回重ねます。複数回実習を重ねて本人も働く自信をつけ、企業に生徒の長所も短所もわかっていただいた上で内定をいただけるよう進路指導を行っています。企業とのお話は縁のもので、チャンスがきた時には是非前向きにチャレンジしてほしいと思います。

1～2年生も3年生になった時には……

1年生は全員同じ進捗で進路についての学習が進んできたと思います。2年生になっても、多少の違い(体験実習の有無)はあっても、個々の進路状況に差はありません。全員が同じスケジュールで進路活動が進んでいきます。

しかし、3年生になると状況は変わってきます。進路活動が本格的になり、進路状況は個々に進んで行くので、どうしても進み具合に差が出てきます。結合実習の話が早い時期にくる方がよいというわけではありません。遅くても焦る必要は全くありません。働く以前の4項目を思い出し、まずは自分の課題にしっかりと取り組み、就職するためだけでなく、働き続けられる力を着々と身につけ、その時が来た時に備えてください。

では、新年度にいいスタートが切れるように、規則正しい生活を送って、4月に元気な姿を見せてください。

